

事業番号	06 01 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課				
		実施期間	H7 ～	E-mail	kankyo @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・気候変動による様々な影響や、新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症の脅威が、これまで以上に身近に迫っている。
- ・また、大気環境では、一部の環境基準が未達成の状況であり、さらに、生物多様性の保全や野生鳥獣に係る問題も発生している。

2 事業目的

- ・上記の課題に対応し、環境・健康を守るために試験検査、調査研究、学習交流・情報発信などを推進する。
 - 1 迅速で正確な検査により行政のバックアップ
 - 2 行政課題を反映させた調査研究の実施
 - 3 県民に開かれた信頼される研究所

3 事業目的を達成するための取組

①試験検査の実施及び危機管理事業への対応等

- ・環境分野：環境保全推進のため、大気常時監視、原発事故に係る放射性物質検査など環境影響調査等
- ・保健衛生分野：健康づくり推進のため、新型コロナウイルス感染症に係る遺伝子検査や食中毒発生時の原因調査、食品中の残留農薬検査等
- ・外部精度管理：試験検査結果の信頼性の確保及び精度の向上のため、外部機関が行う精度管理事業へ参加



<放射性物質検査>

②調査研究の推進

- ・環境分野：大気環境、自然環境の保全、気候変動影響及び適応策等に関する調査研究
- ・保健衛生分野：感染症や食中毒、食品中の農薬実態等に関する調査研究



<遺伝子検査>

③学習交流・情報発信

- ・自然ふれあい講座：自然と触れ合いながら自然環境の課題について学ぶ機会の提供
- ・信州自然講座：信州の自然環境について研究成果の発表と地域課題についての意見交換
- ・サイエンスカフェ：研究所の業務、研究の話題を提供して直接対話しながら科学について学ぶ機会の提供
- ・出前講座：県民の要望に応じ、オンライン又は現地に出向き講演
- ・ホームページ：研究内容の紹介や活動の近況を発信



<サイエンスカフェ>

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	外部機関による試験検査に関する精度管理の受検結果(良好である項目の割合)	%	100	100	→	100	→	100	外部機関による評価により公正な評価が期待できる。目標値はすべての項目について良好を目指すもの。
②	環境保全等に関する研究数	件	26	23	↘	14	↘	15	研究数は研究の活性度の指標となる。目標値はここ数年の研究数とR6年度に予定している組織改編を考慮したもの。
③	学習交流等で参加者の満足度(アンケート調査による満足・おおむね満足の割合)	%	94	96	↗	98	↗	95	参加者の満足度は開催した講座等の啓発効果を測る指標となる。目標値は最近の結果を考慮したもの。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出										
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	自然公園利用者数	万人	2022 (R4)	3,113	2023 (R5)	3,538	2024 (R6)	3,709	2027 (R9)	3,820
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	112,377	△ 31,923	80,454	69,022	71,869	46.0
R5年度	0	108,148	△ 8,713	99,435	83,977	85,010	59.0
R4年度	0	96,884	△ 3,259	93,625	79,324	85,158	59.0

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・行政施策の立案の科学的裏付けや危機管理事象の原因究明調査のため、高度な検査が求められているが、それに対応する技術力の維持や、測定機器の老朽化などの課題がある。
- ・その時々行政課題やニーズに則した調査研究も求められる。
- ・県民に開かれた信頼される研究所とするため、実施している業務や調査・研究の成果について、広くわかり易い情報発信が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・高度化する検査に対応した技術を維持するため、国などが主催する研修等への積極的な参加や、OJTによる技術の継承を進め人材の育成を図るとともに、計画的に分析機器の更新を進める。
- ・翌年度に実施を予定する研究課題について早い段階から県庁関係課等の意見を聴取し、研究課題に行政の視点やニーズを反映させる取組を継続する。全国環境研究所協議会や地方衛生研究所全国協議会などへの参画、県内外の大学等との連携を通じて、先進的な取組や知見を収集し、県民益につながる調査研究を行う。
- ・当所の取組や環境・保健衛生に関する身近な話題を県民等に分かりやすく伝えるため、定期的に情報誌を発行するとともに、サイエンスカフェや公開講座などの広報活動を行う。

事業番号	06 01 02	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	環境保全研究所費			部局	環境部	課・室	環境政策課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	環境保全研究所管理費		63,373 千円	67,813 千円	50,172 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	庁舎（安茂里、飯綱） 管理経費	直接	庁舎光熱水費 燃料費 施設修繕費 等		
			施設改修 1 箇所		
2	庁舎（安茂里、飯綱） 点検等経費	委託	消防施設保守点検業務 空調設備保守点検業務 電気保守点検業務 等		
			点検数 5 件		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	環境保全研究所研究等事業費		21,785 千円	17,197 千円	21,697 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	研究等事業費	直接	試験研究検査用品消耗品 医薬材料費 等		
			研究課題の推進14題、検査件数20,063件(放射能検査を除く。)		
2	放射能調査費	直接	大気常時監視システムリース代 検査消耗品代 調査補助金賃金 等		
			放射能検査件数8931件（内訳：県内環境試料の全β放射能（106件）、放射性核種分析（65件）及び空間放射線量率の調査（連続））		
3	放射能等測定機器点検業務	委託	ゲルマニウム半導体検出器点検委託 β線自動測定装置点検 等		
			上記「2 放射能調査」に際し、実施した点検業務内訳：機器点検（ゲルマニウム半導体核種分析装置 2 基、β線自動測定装置 1 基、サーバイメータ 5 台）		